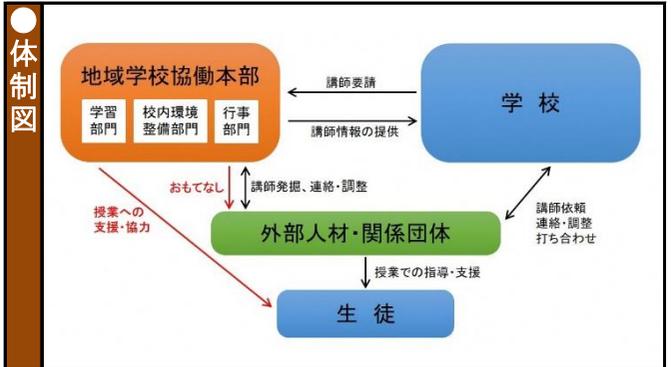


東京都多摩市		●活動名 多摩市立多摩中学校地域学校協働本部			●関係する学校名 多摩市立多摩中学校		
協働活動開始年度	平成24年度	関係学校数	1校	のべ学級数	15学級	のべ児童・生徒数	453人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成				
	地域未来塾	—					
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	1人		2人		2人		
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有		
	平成31年4月1日設置	—	56人	—	—		
参考URL	http://schit.net/tama/ihutama/?page_id=13						
●連絡先	多摩市立多摩中学校			☎ 042-375-7023			



●活動の概要・経緯

平成24年度に多摩中学校支援地域本部を立ち上げ、2名の教育連携コーディネーター（多摩市版地域コーディネーター）を配置して学校支援活動を開始した。教育連携コーディネーターを中心に本部事務局を組織し、学校や地域住民、企業等との連絡・調整及び活動の企画・実施を行い、総合的かつ継続的に活動している。平成30年度は、体制を整えて多摩中学校地域学校協働本部に名称を変更するとともに、より多くの地域住民の参画を得るために新たな活動を企画し、延べ800名を超えるボランティアが活動に参加した。また、令和元年度からはコミュニティ・スクールを導入し、地域と学校が、目標や育みたい子供像を共有しながら連携・協働し、地域と学校の特色を活かしながら多種多様な活動を展開している。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①学習部門…1年生「地域巡り」、2年生「伝統文化継承会」、3年生「キャリア教育」、特別支援学級F組「自立活動の支援」を中心に、地域未来塾や各種検定試験の運営を行っている。
- ②校内環境整備部門…畑・花壇の整備を行うほか、野外活動部の指導やPTA緑化ボランティアと連携して活動している。収穫した野菜は地域との交流事業等で使用している。
- ③行事部門…PTAと連携して入学式・卒業式・運動会・避難所宿泊訓練等の学校行事を支援するほか、本部主催で地域との交流事業（そうめん流し、芋煮会、野点）を実施している。

【実施に当たっての工夫】

- 地域学校協働本部の中でも活動ごとに部門を設けて、役割分担ができています。月に1回本部の定例会を開き、学校と本部及びそれぞれの活動について、子供たちの様子等に関する情報交換を行っている。また、本部の活動に関する反省会を行い、次の活動の改善に活かしている。
- 地域学校協働活動推進員を中心に、教育委員会、学校、地域、ボランティア、関係団体等と密に連絡を取り、連携している。
- 地域学校協働活動推進員が学校運営協議会の委員になることで、学校と地域で目標や育みたい子供像を共有しながら活動することができています。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 自分が住んでいる地域の伝統・文化を学んだうえで、国際理解教育の一環として「海外生徒日本体験プログラム」の中で海外生徒のホームステイを受け入れ、自国の文化を紹介しておもてなしするとともに海外の伝統・文化について理解を深めることにより、グローバルな人材育成及びコミュニケーション力を身に付けている。
- 地域との交流事業を通じて、子供たちは地域の方を学校にお招きしておもてなしすることで「ありがとう」と感謝される経験をし、ボランティア活動に関心を持つとともに、地域への愛着を育むことができる。地域の方は子供たちの活動を実際に見ることで学校への理解を深め、地域ぐるみで子供たちを育む意識が持てる。

●その他

中学生が地域の方と交流する場を作るため、地域学校協働本部主催の行事を継続して開催している。これまで毎年夏に「そうめん流し」、秋に「芋煮会」を、令和元年からは春に「野点」を開催した。



地域との交流事業
「野点」



地域との交流事業
「そうめん」